



## 緊急地震速報 導入の流れ

### 防災対策委員会を作ろう

---

防災対策委員会を作ることによって、担当者が決まり、作業を分担することもできるので、導入・運用がスムーズに進みます。

### 緊急地震速報を入手しよう

---

緊急地震速報は、テレビ・ラジオ、緊急地震速報の放送に対応している防災業務無線・携帯電話、(財)気象業務支援センター、民間の情報配信会社から入手することができます。

緊急地震速報を導入するのであれば、専用端末等を利用して民間の情報配信会社から入手することになると思います。

緊急地震速報を提供する事業を行っている事業者は

「緊急地震速報利用者協議会 (<http://www.eewrk.org/>)」の「関連事業者の紹介」で知ることができます。機能や料金を比較して、事業者を選択しましょう。

### 緊急地震速報の説明会を開こう

---

緊急地震速報についてやその効果などを説明して、緊急地震速報導入を周知しましょう。

「サイスマネットワーク (<http://www.a-2.co.jp/seismonetwork/>)」の「緊急地震速報 導入資料」はどなたでもダウンロードできます。ぜひご利用ください。

また、気象庁の「緊急地震速報の利活用の手引き(施設管理者用) Ver. 1.0」

(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/usage/index.html>よりダウンロード可能)も大変参考になります。

### 転倒防止対策や、避難経路の策定・確保

---

転倒防止対策や、避難経路の策定・確保を行いましょ。

### 対応行動、事後対応マニュアルの作成と緊急地震速報を用いた避難訓練

---

対応行動、事後対応マニュアルの作成と緊急地震速報を用いた避難訓練を行います。

緊急地震速報導入初期においては、短期間で複数回の訓練実施を推奨します。